

# MuWiC Software 操作ガイド

## もくじ

はじめに.....	3
動作環境.....	3
インストール.....	4
アンインストール.....	4
画面の説明.....	5
設定.....	7
接続と機能.....	9
お問い合わせ先.....	12

## はじめに

MuWiC Software は、アナログ多点コンパレータ MuWiC 専用の設定ツールです。8チャンネルの判定条件設定値をひとつの画面上で編集でき、パソコンの USB 通信ポートを介して一括でコントローラーに書き込みを行なうことができます。

また、標準でアナログ入力値のモニター機能を搭載しているため、現在のアナログ入力値を参照しながら、判定条件を設定することができます。

## 動作環境

USB ポートを備えた Windows(R) XP の動作する PC

Windows(R)は米国マイクロソフト社の登録商標です。

## インストール

詳細は別紙、「インストールガイド」を参照してください。

### CDからのインストール

1. インストール CD を PC のメディアドライブに入れます。
2. MuWiC Software.msi を開きます。
3. インストールプログラムの指示に従ってください。

### ダウンロードしたファイルからのインストール

1. インストールプログラムをダウンロードし適切なフォルダに保存します。
2. 保存したインストールプログラムを開きます。
3. インストールプログラムの指示に従ってください。

## アンインストール

Windows コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」で  
「プログラムの変更と削除(H)」を選びます。

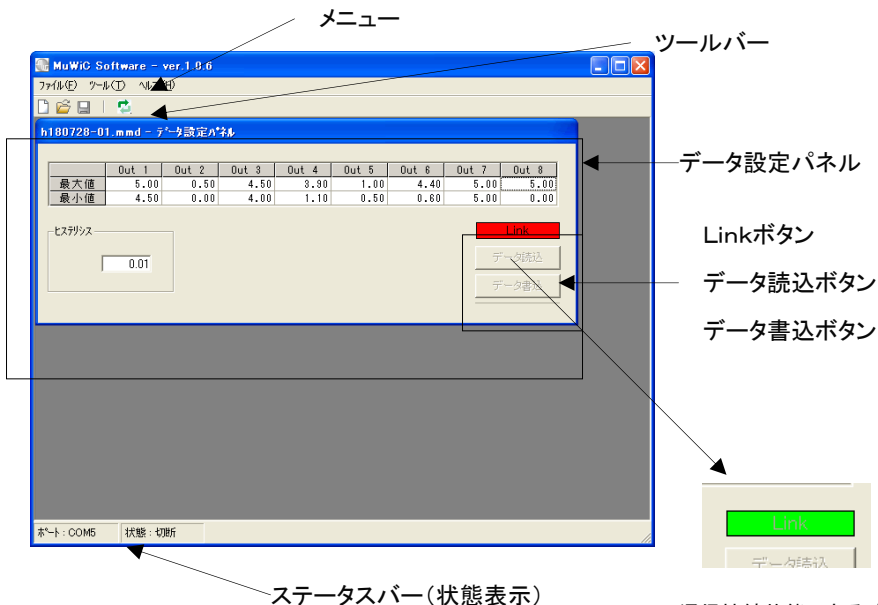
「MuWiC Software」を選択し、「変更と削除」ボタンをクリックしてください。

アンインストールプログラムが開始します。

アンインストールプログラムの開始後の操作は、アンインストールプログラムに従ってください。  
この時、「共有ファイルの削除」をするかどうか選択する画面が表示された場合、「削除しない」を選んでください。

# 画面の説明

## メイン画面



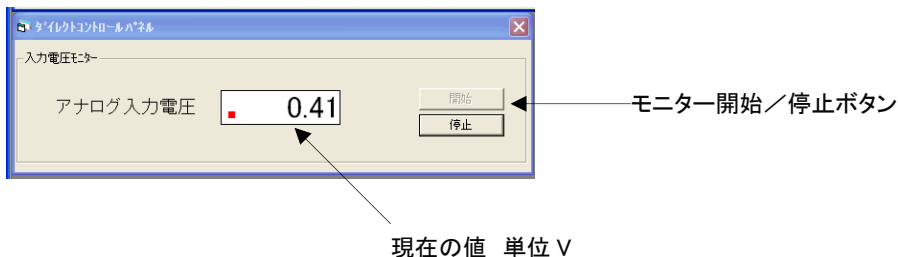
通信接続状態にある時は  
常時緑色表示となります。

## ツールバー



- ① 新規ファイルボタン
- ② 開くボタン
- ③ 上書き保存ボタン
- ④ 接続ボタン

## アナログ入力モニター画面(ダイレクトコントロールパネル)



## データ設定パネル

8チャンネル分のコンパレート条件の最大値、最小値を表示、入力できます

## アナログ入力モニター画面(ダイレクトコントロールパネル)

アナログ入力を電圧表示します。開始ボタンでモニター開始、停止ボタンで停止します。

# 設定

## 通信ポートの設定

PC 側の通信ポートの設定を行いません。

「ツール(T)」→「通信の設定(C)」で通信の設定画面を開きます。

使用するポート番号を選択して OK ボタンをクリックしてください。

使用できないポート番号はグレー表示されます。

設定画面を開くとき、次のメッセージが表示される場合があります。

これは現在、使用できないポートを通信ポートに設定されているためです。

現在設定されているポート COM ポート番号は使用できません。  
新しいポートを設定してください。

## サンプリングタイムの設定

「ツール(T)」→「通信の設定()」、通信の設定画面上の入力電圧モニター「サンプリング時間」の欄に通知を入力してください。入力範囲は 20～2000msec、入力単位は 1msec です。

サンプリングタイムとは、アナログ入力モニター時のコントローラー⇄PC 間のデータやり取りのタイミング調整のためのものですので、コントローラーのコンパレート動作の応答時間とは関係ありません。

## 判定データの入力

「データ設定パネル」の編集したいカラムの上でマウスをクリックします。

入力待ちの状態になるので任意の数値を入力します。

入力電圧を 0～5V で使用する場合、入力単位は 0.01V です。

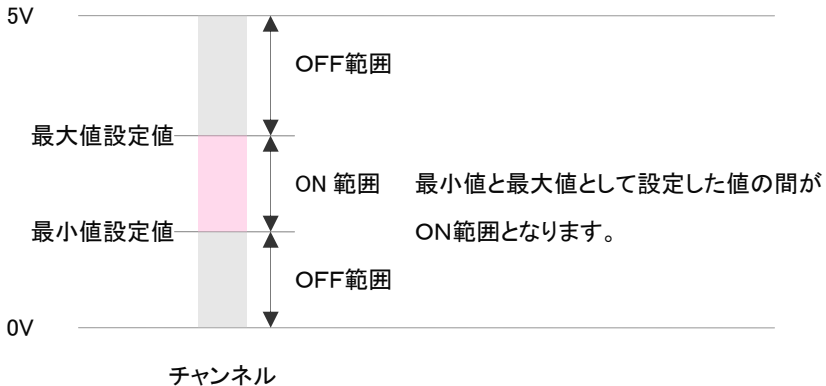
## 判定条件の考え方

電圧範囲に対して1チャンネル毎に最大値、最小値を設定できます。

入力値が最大値、最小値で囲まれた範囲に入るとそのチャンネルはONになります。

入力値が最大値、最小値で囲まれた範囲外に出るとそのチャンネルはOFFになります。

最大値、最小値は0～5Vの範囲(フルスケール)で設定可能です。



### 最小設定精度

0.01V を設定した時の値を計算する式は

最大移動値 : 5V の時の値 例) 100mm

最小移動値 : 0V の時の値 例) 0mm

移動量 = 最大移動値 - 最小移動値

最小設定精度 = 移動量 ÷ 500(定数)

定数は 0～5V、0～10V の場合の定数です。

### 設定電圧の計算式

目標値 : 設定したい位置(mm)

$$\text{設定電圧} = \left( \frac{\text{目標値}}{\text{移動量} \times 0.002} \right) \times 0.01$$

上記計算式は 0～5V、0～10V の計算式です。これ以外の場合は(別の式によって求めることができますが)サポートソフトの電圧モニターを見ながら設定を行なうのが最も簡単な方法です。



## 接続と機能

初めて通信接続を行なうときは、接続を開始する前に、USB ドライバーのインストールを行ない、コントローラーとPCにケーブルで正しく接続されているか確認してください。

(参照 MuWiC 取扱説明書)

### 接続開始

コントローラーとの通信接続を開始するには、メニューバーの「ツール(T)」→「接続(J)」をクリックするか、ツールバーの接続ボタン、もしくは「データ設定パネル」の「Link」をクリックしてください。MuWiC Softwareは、一度コントローラーと接続中になると、アプリケーション終了までずっと接続状態となります。破損する恐れがありますのでMuWiC Softwareがコントローラーと接続状態にあるとき、PC側、コントローラー側のどちらもケーブルを抜いたり、差し替えたりしないでください。

### 判定データの読み出し

コントローラーから判定データの読み出しを行う時は、「データ設定パネル」の「データ読込」ボタンをクリックしてください。

### 判定データの書き込み

コントローラーへ判定データの書き込みを行う時は、「データ設定パネル」の「データ書込」ボタンをクリックしてください。

## アナログ入力電圧モニター

### アナログ入力電圧モニターの開始

1. メニューの「ツール(T)」→「ダイレクトモニター」をクリックします。
2. ダイレクトモニターパネルの「開始」ボタンをクリックします

アナログ入力値のモニターを開始するにはコントローラーと通信接続中である必要があります。

アナログ入力値のモニターを終了する場合はダイレクトモニターパネルの「停止」ボタンをクリックしてください。

コンパレート条件設定の編集はモニター中でも可能ですが、データの転送を行なう場合は、必ずアナログ入力値のモニターは停止した状態でなければなりません。

## 設定データの保存

### 名前を付けて保存

メニューの「ファイル(F)」→「名前を付けて保存(A)」

新たにファイル名を指定して保存します。

### 上書き保存

メニューの「ファイル(F)」→「上書保存(S)」

もしくはツールバーの「上書き保存」ボタン

現在開いているファイルに上書き保存します。

### 初期値として保存

メニューの「ファイル(F)」→「初期値として保存(I)」

現在編集中のデータを、「新規」ファイルを開く時の初期値として保存します。

## 設定データを開く

PCに保存してあるファイルを開きます。

### 開く

メニューの「ファイル(F)」→「開く(O)」

もしくはツールバーの「開く」ボタン

PCに保存してある既存のファイルを開きます。

### 新規

メニューの「ファイル(F)」→「新規ファイル(N)」

もしくはツールバーの「新規ファイル」ボタン

現在編集中のデータを破棄して初期値ファイルに書かれたデータを開きます。

新規に開くデータの初期値を変更するには「初期値として保存」の項を参照してください。

## お問い合わせ先

製品に関する技術的なお問い合わせはメールおよびFAXにてお願いいたします。

なお、当社ホームページ上で製品情報をご覧いただけますのでご利用ください。

インターネットホームページ

<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~usi/>

FAX 045(752)5660

株式会社ユニメーションシステム ユーザーサポート